

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [宇城市立不知火中学校] 担当教諭名 [柴 美紀子] (1年2組 34名)
 交流相手国 [ウガンダ]
 海外学校名 [IGANGA Secondary School] 担当教諭名 [Merikol Patrick / 花本 愛子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	発見！地域の宝	14
	英語	My Project 自己紹介・地域・学校紹介	3

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	地域の宝
絵に込めたメッセージ	不知火の歴史あるきれいな町並みや豊かな海がもたらすさまざまな特産物と、神祕の火「不知火」をこれからも大切に守っていこう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の良さの再発見 ・分かったことを校内だけに留まらず外国に発信するという目標があることで、生徒の調べ学習への意欲がさらに高まる ・英語を使って何かを伝える、英語でなければ相手に伝わらないという状況を自然に作り出せる ・国際交流は英語が得意な生徒が中心になることが多いが、美術が得意な生徒、普段あんまり目立たない生徒がいきいきと活躍できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者によって、取り組みの内容に差が出る

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
文化発表会での発表や展示	文化発表会后、発表内容や壁画等の展示にお褒めの言葉をいただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	地域の宝についてフィールドワークを行い、調べたことをまとめ、文化発表会で発表すると共に、ウガンダの学校にも発信していくことを伝える。	実際に外国の中学生、それぞれまで遠い存在だったウガンダの学生との交流や共同作業があると知り、とてもわくわくしていた。	総合
情報収集	7月	班ごとにさらに細かいテーマを設定し、図書館、市役所、史跡等を実際訪れインタビューや調べ学習をすすめる。	班ごとにまとまって、役割分担し、いきいきと活動していた。まとめる段階では、初めてのパワーポイント作成でとても生徒もいた。	総合
テーマ検討	9月	お互いの地域についての壁画にすることをフォーラムやメールで相手校と確認する。 各班が地域について調べたことを各班の代表がそれぞれひとつの絵に表す。クラスの代表が壁画のおおまかな下絵を作成し、下絵の中に6班それぞれのモチーフを組み込む。 途中相手校にも画像を送り、確認しながら進める。	各班の代表6名それぞれが、調べた内容をどう一つのモチーフに表すのか頭を悩ませながら何度も下書きを書き直していた。6つのモチーフが仕上がりに、壁画の大まかな枠組みの構想もできてきた頃には、絵の全体像が何となく分かり、生徒のやる気がさらに高まっていた。	総合
制作	10月	6班の代表が6名あつまり、リーダーの指示に従って、下絵から色つけまでを協力して行う。途中相手校にも画像を送り、確認しながら進める。	お互いの意見を出し合い、自分の作品をどのように壁画の中で生かすのか話し合いを深めていた。いきいきと活動に取り組んでいた。	総合
鑑賞	10月	班ごとのパワーポイントでの発表 班ごとのワープロソフトでまとめた新聞の展示 壁画の展示	他学年だけでなく、隣のクラスや他の班の発表や展示から多くの新しい発見があり、地域の良さの再発見につながった。	文化発表会

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	小学校時代にも同様の地域調べを行っているが、初めて分かった地域のことが多くあり、生徒も驚いていたので
異文化の理解	A	5	全く環境が違うウガンダの生活の様子や風景等を知ることができたから
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	5	お互いのクラス内でのコミュニケーションや英語での説明文作成、さらにそれをビデオレターとして発信することで、確実に力がついた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	フィールドワークやワープロソフト、パワーポイント、インターネット等になじみのなかった生徒も含めた全員がそれらを活用することができたから
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	5	そんなに意識はしていませんでしたが、一緒に作業を進める中で特にクラス内での人間関係が深まる結果となりました
協働する力 (役割分担・協力)	B	5	クラス内の生活班を基本に学習を進めました。絵が得意な生徒、英語が得意な生徒、発表が得意な生徒、パソコンが得意な生徒など、それぞれが自分の力を発揮しながら、協力して取り組むことができた。予想していた以上の力がついた。
学習を追究する意欲	B	4	伝える相手が明確なので、より詳しく調べよう、さらに良いものにまとめようという意欲が感じられた
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	もともと絵が好きなメンバーが代表になったので、お互いのアイデアを出し合うことでさらに良い作品に仕上がった
作品を鑑賞する力	B	3	まだ相手校から帰ってきていないのでこれからです。